

令和 6 年実施 町政懇談会の記録（北伊予校区）

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
永田	4月25日	02道路・交通・建物	通学路	通学路で車がスピードを出して走行しており危険を感じる。子供が安心して歩けるような対策は。	学校教育課	学校への通学は通学路を通っていると思う。北伊予小学校に確認し安全確保について検討する。 後日確認したところ指摘箇所は通学路になっている。6年度の通学路安全点検箇所として挙げ舗装や取り締まり強化等について愛媛県や伊予警察署へ要望した。
永田	4月25日	04環境	長尾谷川へのゴミ投棄	義農みその裏あたり、長尾谷川の北土手にゴミが不法投棄されている。「ゴミを捨てるな」の看板がH30年に4か所設置されているにも関わらず、効果がない。河川管理者である県も対応してくれない、監視カメラを設置するなど、抜本的な対策を考えてほしい。	町民課	現地を確認して対応を検討したい。 夜間にも対応可能な監視カメラと取付け支柱は設置箇所が広範囲に及び費用面から困難である。不法投棄は日時を特定できないため、日頃からのパトロールを強化するとともに、投棄されたごみから相手を特定する作業をしたい。
永田	4月25日	04環境	ゴミ収集	現在はゴミの収集所まで車でゴミを運んでいる。自宅の近くで回収してもらえないようにならないか。	町民課	ルートの的にどのような方法が取れるか確認する。 ゴミ集積場所の設置に関しては、地域で話し合い、区長名で集積場所の申請をしていただくようになっている。提出していただいた後、ゴミ収集運搬業者と協議し可否を回答する。新規でゴミ集積場所を設置する場合は、ゴミ収集作業の安全性に支障なく通り抜けできる道に面している等の要件があるので、まずは区長と相談してほしい。
永田	4月25日	12その他	人口減少対策	若い人に松前町に住んでもらうため、どのような施策を考えているか。	財政課	若い人が就職したいと思うような企業を呼び込むことが大事だと考えている。また、若者が集う場所を作ったり、子育てに不安を抱かないような町を作りたいと考えている。
永田	4月25日	05子育て	子どもの遊び場	松山市の総合公園やコミセンのように、車が停められて、子どもが遊べる場所があればよいと思う。	まちづくり課	そういった場所を作るためにも、ふるさと納税で町の歳入を増やしていきたい。
永田	4月25日	02道路・交通・建物	市街化調整区域	北伊予校区は調整区域の関係で転入者が少ない。それが解消されれば子育て世代にも選んでもらえると思うので、住宅を建てられるエリアを拡げることはできないか。	まちづくり課	都市計画は、中予圏域全体を見渡して作られているものであり、変更することは容易ではなく、時間のかかる問題であるが、県への働きかけや土地利用に関する研究は続けていきたい。
永田	4月25日	08農業	今後の農業	松前町の農業を今後どのように考えてゆくか。永田地区の農地は約31haあり、約7割の23haは今後も担い手が確保されているが、今のままでは先々はつくり手がいなくなる。H23年に農業促進計画を策定し、ほ場を15aにするなどの考えがあるが、抜本的な基盤整備、大規模ほ場への転換が必要である。事例として島根県安来市は農業生産法人を立ち上げ、県と協力して168ha（事業費約30億）のほ場事業を完成させた。国・県・市町の負担により、農業者の負担はゼロと聞いている。こういった先進事例を参考に松前町もほ場整備などを検討し、今後の農業対策に真剣に向き合ってもらいたい。	産業課 まちづくり課	農業者の減少や高齢化、耕作者の継承問題は喫緊の課題である。そこで10年先の地域の農業をどのように進めてゆくかを考えるのが「人農地プラン→地域計画」である。これを策定するにあたり、様々な意見を地域から聞きながら、農業振興に向けた取組を検討したい。多面的の事業や国県補助の土地改良事業は今後も活用して、施設の延命化を図るとともに、「町単独事業の畦畔除去」を将来は拡充、農地の大型化に努める。担い手が何を求めているかなどを模索していきたい。 ご指摘のほ場整備による、区画の拡大化はばく大な費用がかかる、農業者の負担は少ないかもしれないが、町の負担は大きいと考えている。また、受益要件もあり、先進事例が松前町に適合するかは分からないが、ほ場整備については今後研究する。
永田	4月25日	02道路・交通・建物	公民館	公民館が古いため、将来的に建替を検討している。自己資金を積み立てているが、なるべく地元負担が少なくてすむ補助制度を活用させてもらいたい。	町民課	実際に今年度、上高柳が取り組んでいるところであり、町民課のコミュニティ係に詳細を尋ねていただければと思う。まずはどのくらいの規模の施設にするか等を地域で検討してほしい。
永田	4月25日	02道路・交通・建物	道路の舗装補修	町道と生活道の違いは。永田484-2の前の道路（約70m）は昔、舗装の補修（一部改良）をお願いしたく、区長を通して地元要望を町に上げているが、どのような状況か。	まちづくり課	町道は道路法で認定された町内の道路で町道〇号線と名称を付けられているもの（要件をみたした道路）。一方、生活道とは、路地や農道、私道のことである。 ご指摘の道路については、要望状況を確認し、後日、回答したい。 令和4年度事業として令和3年9月に地元要望が提出されていることを確認した。 まちづくり課として、事業要望の採択について検討した結果、緊急性がないことから不採択として区長に回答している。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
大溝	5月9日	01防災	災害時における食事の提供	災害時に通常食を食べられない方への食事の提供について準備はできているか。	危機管理課	まだ準備はできておらず、今後研究していくべき課題だと思う。 令和6年度補正予算（3月補正）で、町内の事業者が購入するキッチンカーに対し町が補助を行い、防災・減災対策の向上を図る。 なお、キッチンカーについては、避難所生活においては、温かい食事の提供をはじめ、高齢者へのきざみ食の提供や乳幼児への離乳食の提供、アレルギーのある方へのアレルギー対応食の提供等、安心できる食事提供の機会を確保する。
大溝	5月9日	02道路・交通・建物	空家等	空家や高齢者のみが住んでいる家をリフォームして、血縁関係等のない若い方と高齢者とがルームシェアのような形で住めるようにするのはどうか。	まちづくり課	古民家関係の協会等と空家の利活用について相談しているところであり、一つのアイデアとしていただいておく。
大溝	5月9日	02道路・交通・建物	免許証返納	運転免許証を返納をしたいが、返納後の生活が不安である。使用回数や金額に上限は必要だと思うが、返納者にタクシーの利用券などをいただけると助かる。	危機管理課 町民課	返納後1年間使用できるタクシー券及び公共交通機関の無料券を渡している。高齢者等の移動手段としての町内の今後の公共交通の在り方について現在研究を進めているところである。
大溝	5月9日	08農業	先進地研修	「全国農業担い手サミット」への参加について、平成30年頃までは町からの補助を貰って参加していたが、近年は補助がない状況である。近隣市町は継続して補助をしている。担い手にとって全国交流は見地も広がり、効果的がある。補助金の復活を前向きに検討して欲しい。	産業課	係に確認し検討したい。 平成30年度まで隔年で補助をしていたが、近年は参加者が固定していたことから、町からの支出を廃止した。しかし、加速的に広がる農業後継問題など担い手の見地を広げることは重要と考えており、令和7年度から近隣市町と同様に農業関連協議会への補助金を増額することを検討したい。
大溝	5月9日	04環境	粗大ゴミ	粗大ゴミの収集について、貼付用のシールが届いたのが収集日当日であった。数日前には届くようにすべきでは。	町民課	事務処理の問題であるので改善したい。
大溝	5月9日	01防災	避難所	現在の避難所で全避難者の受入が可能なのか。また、備蓄品をストックする場所として、空家を活用できるのでないか。	危機管理課	過去の災害の状況等から被害想定を出し、避難者数も想定した上で、必要な物資等を計画的に配備している。 避難所だけでは備蓄品のストックが困難であるため、避難所以外で備蓄品をストックできる適切な場所について研究しているところである。
大溝	5月9日	02道路・交通・建物	空家の樹木除去	県が進める、永田交差点の県道拡幅の進捗状況は。また、交差点南の東箇所、雨の日は子ども達も傘をさして通学しているが、生垣（樹木）が邪魔になって狭い車道側に寄るしかなく危険である。現在は空家で定期的な管理はしているが、生垣を低くするなど、事故が起こる前に手立を考えてほしい。	まちづくり課	永田交差点の県道拡幅は県事業で、「用地交渉を重ねたが地権者の同意が得られず進展なく、数年前から懸案となっている」と記憶している。なお、現在の状況は県に確認する。 生垣（樹木）の件は、民法の改正もあり、道路にはみ出した樹木等、支障がある場合は隣接者（行政）も切断ができるようになったが、まずは、現地を確認し、行政として所有者や相続人に依頼したい。適正管理されているのであれば、難しいと言える。 県に確認したところ、平成24年頃まで県と町が一体となって用地交渉に努めていたが、相続人（代表）の同意が得られず、交渉不調となっている。相手方の状況は変わっておらず、進展は見込めない。 生垣（樹木）の件は、空家と言えども適正に管理されており、低く切断するなどの依頼は困難。今後も適正に樹木管理してもらうことをお願いすることとする。
大溝	5月9日	12その他	移住者支援	移住希望者に対して、お試しで短期間移住できるような支援制度はあるか。	財政課	現在のところ、そのような支援制度はないが、アイデアの一つとしていただくこととした。
大溝	5月9日	04環境	大谷川の土砂除去	大溝地区内の大谷川は、川底に土砂が堆積し、草木が繁茂している。このままでは川の容量も少なくなり、水が溢れるような危険を感じる。定期的に河床掘削を実施していただくよう県に要望してもらいたい。	まちづくり課	大谷川の除草・河床掘削は管理者の県が行う。除草や土砂撤去は、費用が多くかかり定期的に実施することは予算的に厳しいと聞いているが、地区からの意見として県に要望する。 県に要望したところ、令和6年度下半期に大谷川、大溝地域内一部区間の河床掘削を行う旨の確認をした。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
神崎	6月4日	01防災	防災無線	議会だよりによると、当初予算で防災無線の修理費用3か所分が計上されているようだが、具体的に修理箇所は決まっているのか。 神崎地区でも特定の地区で防災無線が聞き取りづらいという話が出ている。	危機管理課	3か所は決まっている。他からも多く要望があり順次対応しているが場所を教えてもらえれば持ち帰って検討する。 また、難聴対策として公式LINEを作ったため是非登録して活用してほしい。 申出のあった方に対し、区長が公式LINE等で確認できることを説明し、理解を得た。
神崎	6月4日	01防災	資機材	消火器の廃棄や資機材の更新について問い合わせたことがあるが回答がなかったので教えてほしい。。	危機管理課	来年度における資機材の更新等の補助について検討中である。 令和7年度当初予算で、自主防災組織が購入する防災備品の補助に係る予算を計上した。
神崎	6月4日	12その他	ふるさと納税	ふるさと納税で町外へ流出している3,000万円について、町長が町民に夢を語り町外へ流出しないようにすべきではないか。	財政課	ふるさと納税してもらおう取組と両輪で進めていきたい。
神崎	6月4日	06学校	オンライン授業	学校でのオンライン授業（特に休んでいる時期）の実施、タブレットの有効活用はどうなっているのか。	学校教育課	タブレットは以前より授業に浸透しているが、教員によって差があるのが現状である。また、教員と児童がやりとりできるオンライン授業ができるほどの設備が整っておらず授業送信をする程度である。不登校の児童が別室にいられば別室に授業の様子を配信しており、今後も不登校児童の居場所づくりにはオンラインを含めた取組をしていきたい。 タブレットの持ち帰りについては、各学校が年度初めにプリントを配布して保護者の許可を得て持ち帰れるようにしている。基本的には子どもが使用しているため、タブレットを保護者との連絡には活用しづらい。一方で、インフルエンザ等学級閉鎖など長期休暇時には子どもの健康管理に活用できた。今後、学校と保護者のやり取りをスマホを使ってできるように検討していきたい。 P T AからP Cが家にある場合は持ち帰らないように要望した経緯もある。授業支援アプリロイロノートを利用すれば家のPCから接続が可能でありタブレットを持ち帰らなくても学習は可能である。
神崎	6月4日	11文化・歴史	ホッケー公園東側グラウンド	ホッケー公園東側のグラウンドで日陰ができるような木やベンチがなくなってしまった。何とかしてほしい。	社会教育課	予算面の問題もあるが前向きに検討したい。
神崎	6月4日	12その他	プレミアム商品券	他市町ではプレミアム商品券をやっているが、松前町では予定はあるか。	産業課	昨年度、国から各市町村に重点支援地方創生臨時交付金が交付されたことから、県内の他市町では、当交付金を今年度に繰越して商品券の発行を行っているところがあると聞いている。本町へは当交付金が約6,000万円交付されたが、物価高騰の影響を強く受けている低所得者及び事業者への支援に使用させてもらった。プレミアム商品券についても検討はしたが、約6,000万円では財源として十分でないため実施を見送った。今後、臨時交付金等の追加交付がある場合は事業の実施について検討したい。
神崎	6月4日	01防災	防災無線	防災無線ラジオの貸与はできないのか。	危機管理課	個別受信機のことだと思うが、各自主防災会の会長や学校に配布をしている。しかし、個別受信機は電源を入れっぱなしにする必要があり、かなりの音量のため必要のない情報も入って来ることから日頃音量を絞ってしまう事例が他市町であると聞いている。 今後要望が多く出るようなら検討する余地はあるかと思っている。 現在、テレビのdボタン、LINE等多重化を図っているので、まずは使い易いものを選んで使ってもらいたい。
神崎	6月4日	05子育て	ファミリーサポートセンター	ファミサポの仕組みについて、いい制度だが使うのに罪悪感や抵抗を感じる人がいるようである。もっと気軽に使ってもらいたいので啓発をもっとしてみてもどうか。	子育て支援課	利用促進については地道に啓発していきたい。マッチングが難しいと聞いたことがあるので、D Xを活用してより良い仕組みを作っていければと思っている。もし何かいい案があれば是非提案していただきたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
中川原	7月1日	02道路・交通・建物	ひょこたん池公園	ひょこたん池公園の池水の確保について検討してほしい。毎年11月～2月にかけて、池の水が枯渇し、鯉の生息が脅かされる。町が電気代を補助し、中川原の農業用ポンプを稼働して水を入れている。公園築造時には、専用ポンプで注水していたが、今はそのポンプも壊れて機能していないと聞いている。抜本的な対策はできないものか。	まちづくり課	ひょこたん池公園は、平成5年頃築造、当時は池底から自噴していたという記憶がある。近年の水位変化によるものか、水持ちが悪いことから「しがら（木組）」を設置し、その後は効果が図られていると考えていた。詳細を把握できていないため、持ち帰り、検討の上、後日回答する。 ひょこたん池公園のポンプ施設は、池の水位低下時に水位回復を行うために設置されたもので、使用頻度は低かったが、平成15年頃に経年劣化により稼働しなくなった。ポンプ施設の改修には多額の費用を要するため、地元の揚水施設で汲み上げた用水を利用して水位回復を行うこととし、平成15年に大字中川原と松前町がポンプの借上げに関する協定を締結して池の水位低下時の回復に対応している。
中川原	7月1日	02道路・交通・建物	重信川	重信川の水害対策として、河床掘削について上流部の掘削も依頼して欲しい。	まちづくり課	管理計画では上流部も計画的に河床掘削をして行くとの事。現在は堤防の維持管理として「漏水対策」を行うなど、国は松前町で重点的に治水対策に取り組んでいる。
中川原	7月1日	02道路・交通・建物	路面標示	町内一円、道路の路面標示の白線・黄色線が消えていたり、かすれていたりするところが多い。非常に危険であると感じている。役場と警察のすみ分けはどのようになっているのか。	まちづくり課 危機管理課	外側線は道路管理者が対応し、速度表示や「止まれ」など制限の表示は警察の所管となる。警察への要望については役場の危機管理課が対応しているが、路面標示の予算も規制看板や信号機と同じ予算と聞いており、確保が困難と聞いている、お気付きの点があれば、連絡願いたい。
中川原	7月1日	07高齢者	高齢者の活動	高齢者で元気な方々がたくさんいらっしゃるので、町の施策の中で元気な高齢者の力を活用していける場があるのではないか。	福祉課	現在も交通安全や小学校の行事等で地域の高齢者の方々に御協力をいただいております、大変助けられている。今後も様々な分野で、地域の元気な高齢者の方々の御協力をいただきたい。
中川原	7月1日	05子育て	保育料無償化	第2子からの保育料の無償化について教えてほしい。	子育て支援課	国の制度で3歳からは保育料の無償化がされていたが、0～2歳までの無償化はされていなかった。アンケートでは経済的な理由で出産をためらうことが多いという結果が出ていたことから、経済的負担を減らすために、第2子からの保育料の無償化を行った。
中川原	7月1日	05子育て	少子化対策	少子化対策として考えていることは。	子育て支援課 産業課	中予に若い人が望む企業が少ないことが課題だと考えている。今は転職が当たり前になっており、セカンドキャリアで首都圏に行ってしまうことが多い。中予に若い人が働きたい企業を誘致したりするなど、中予管内で働けるための支援が必要だと考えている。
中川原	7月1日	01防災	津波対策	津波が重信川を上って堤防が決壊した場合、山のない松前町ではどこに逃げるべきなのか。	危機管理課	南海トラフによる津波の遡上については、中川原地区まで到達しないと想定されているが、河川の氾濫については、南方面や高いところへ逃げる必要があり、台風や大雨時には早めの避難が必要となる。
東古泉	7月8日	12その他	ホッケー公園	固定式の屋根付きのベンチ（東屋）を作ってもらいたい。あれば友達作りや親睦を図ることができる。	社会教育課	利用者の皆さんにとって、こういったものを設置すれば一番よいかを検討したい。
東古泉	7月8日	12その他	雇用	20～30年後の町の将来を見据え、一家に一人くらいは町内に残って働ける環境づくりをお願いしたい。	産業課	大学生や就職希望者のニーズに合うような企業が、町内或いは中予にあれば通勤圏域であるため、町外に出ていかないと思われるので、中予管内にどのような企業を呼び込むかを松山圏域で考えていきたいと思う。
東古泉	7月8日	01防災	長尾谷川の改良	大雨で長尾谷川の水位が上がれば、すぐに「洪水警報」が出る。氾濫抑止等のための対策を教えてください。	危機管理課 まちづくり課	長尾谷川は2級河川であり、県の管理となる。河川のハザードマップなど、ソフト面の作成はあるが、ハード面の整備について、現在の河川が「完成断面」であるため、今後、改良などの情報は聞いていない。河川が増水し、氾濫の危険がある場合は一番に避難することである。河川土手の不具合や危険箇所など、維持管理の観点でお気付きの点などあれば役場（まちづくり課）に連絡をされたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
東古泉	7月8日	12その他	人口減少対策	人口減少対策について全国の先進的な自治体と比較して、自治体の規模や地理的要件、施策は遜色ない。それらをもっと周知するための工夫が必要であると感じている。松前町の広報紙はよくできており、その広報紙を活用して、子育て支援等の重要な施策について、単発ではなくシリーズ化して繰り返し周知してみてはどうか。	総務課	貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。重要な施策等については、広報等で何回も繰り返して周知することを検討したい。
東古泉	7月8日	12その他	部活動の地域以降	社会教育課のスポーツ振興係から文書が届いたのだが、中学校で部活動を教えられなくなるので、私どもグランドゴルフクラブで教えてほしいということか。 指導はできたとしても中学生が怪我をしたときのことが心配である。	社会教育課	全国的に中学校の部活動を地域に移行する動きとなっている。町内の中学校でも生徒の人数が少なく運営できない部活動が出てきており、生徒自身が選択できる部活動の数が減ってきている現状がある。そのため、生徒と一緒にクラブ活動をやってもいいというクラブ等があるかどうかを調査しているところである。受入可能なクラブがあれば、生徒に紹介していくという一連の流れを想定しており、その準備段階としてアンケートを送らせてもらっている。 生徒が地域のクラブ活動に参加するとなった場合は、学校とは切り離れた形で地域のクラブが運営していくため、怪我等については地域のクラブが加入する保険で対応していただくことになると思われる。
東古泉	7月8日	04環境	長尾谷川の除草	長尾谷川の雑草が繁茂し、道路利用に支障を来しており、また川の中側にも「竹や高木」が生えており、除去して貰いたい。県も町も適宜、現地を確認するようにして貰いたい。	まちづくり課	土手の天堤部は県と町で兼用協定を結び、道路肩から約1mは町が除草している。回数は年2回で、1回目が7月上旬から8月下旬、2回目が10月上旬から11月中旬を予定している。上流は鶴吉地区、下流は筒井地区までが範囲となる。 川の中側の「竹や高木」の除去については、管理者の愛媛県に要望する。 県の河川砂防課に東古泉地域からの要望があった旨を伝え、県から次のような回答があった。 ①堤防除草：大谷川、国近川、長尾谷川は2年で全延長、その他は4年で全延長を除草。 ②長尾谷川の堤防のり面に、竹や雑木が生えている場合の伐採については、築堤区間は、堤体に損傷を与える雑木等は逐次伐採している。掘込区間は、倒木・枝の垂れ込みなど流水の支障になっている場合に伐採している。 ③松前町が除草を実施していない箇所について、県が実施しているのは、あくまで「堤防点検を適切に行うための」除草であり、築堤外の実施は流水の支障になっていない限りは基本的に対象外となる。 河川の環境美化について県では、市町や地域住民と連携・協働した取り組みである「愛リバー・サポーター制度」を推進しているので、当制度の活用を検討していただきたい。（長尾谷川、神寄川、国近川については登録団体あり） ④河床浚渫について：要望区間については、県職員が現地を確認し実施の可否を判断している。また、実施の時期については予算内で優先順位を決めるため、要望から工事までに時間がかかる場合がある。
東古泉	7月8日	04環境	長尾谷川の除草	例年、年2回の除草は行っていないのでないか。また、除草作業の精度が低い。人材不足もあると思うが、適当にやっている感じがする。きちんと指導するようにして欲しい。	まちづくり課	草刈りの回数については例年、2回の実施と聞いている。草刈りの精度については、検査でも確認しており、「標準的な成果」と認識しているが、尚一層指導をしていく。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
鶴吉	7月9日	01防災	長尾谷川の管理	長尾谷川について、5月の大雨で洪水警報が出た。県の管理になると思うが、堤体や河床のパトロールや危険個所の点検などはどのように行っているのか、適正に実施されているのか、近隣住民として不安である。知っていれば教えて欲しい。	まちづくり課	2級河川は県管理であり、点検は年1回、出水期前に行っていると思うが、県に確認の上、回答する。 県の河川砂防課に確認し、次の回答を得た。 ・松前町を流れている2級河川（大谷川、長尾谷川、神寄川、大井手川、国近川）について 1）通常の維持管理 ・水門、樋門点検：年1回 ・堤防点検：年1回 ・堤防除草：大谷川、国近川、長尾谷川は2年で全延長、その他は4年で全延長を除草。 2）大雨時の河川パトロール ・異常気象時に県職員及び年間維持業者がパトロールを実施。 3）長尾谷川について ・昭和34年から天井川の解消のため、河床を下げ、河積の拡大と河道曲折の是正により50年確率降雨に対応する河川整備をしている。
鶴吉	7月9日	03水道	渇水対策	近年、地下水位の低下や渇水等の影響により、井戸を水源としている本町では、上水道の断水や使用制限が危惧される。渇水などに対して町は何か、取組を考えているのか。	まちづくり課	地下水位の観測は町内の定点で行っているが、顕著な傾向は見られない。水道事業においても各水源の取水量、水位の把握は常に行っている。水道事業では「6次拡張事業」に取り組んでおり、水道水の水質の安全・水量の確保に努めている。既に完成の北伊予浄水場は徳丸、神崎の井戸を水源としている。これまでは個々の水源の地下水を汲み上げ、送っていたが、現在は水源を集約し、浄水場を通して送水している。また、北伊予⇄恵久美浄水場間での水量の調整も可能となっている。現在、料金値上げのお願いしているが、建設中の松前浄水場が完成すれば取り組み事業は完了する。
鶴吉	7月9日	12その他	町税等の徴収率	町の決算書を見ると、町税等の徴収率が若干下がっているようであるが、こういったところが原因か。	税務課	原因がマンパワー不足なのかその他によるものか、精査して対応していきたい。
鶴吉	7月9日	12その他	調整区域の建替	市街化調整区域では容易に、住居が建たない。しかし、既存宅地であれば可能のはずが、農家住宅（分家）では取り扱いが異なるようある。利用者はそこまで把握できないと思うし、地目が宅地で制限が掛かる点は理解できない。町から県へ働きかけてもらえないか。	まちづくり課	農家住宅（分家）で建ててた家は属人性があり、第三者による建替ができないが、通常、宅地計画や建築の際、利用者はそこまで考えないことが多い。今後県へ改善を要望する予定としている。
鶴吉	7月9日	01防災	道後平野水路	自宅周辺では過去数回、水路から水が溢れ、田んぼが浸水し、道路を超え宅地近くまで水がきたことがある。上流からの水を抑止したり、堰の管理を適切に行うように申し上げたい。	まちづくり課	該当の水路管理については、横田が管理する「南部排水の堰」を早めに倒す必要があると思う。その前段で、アクセス道路横の「鶴吉の管理する堰」も倒す必要がある。横田地区、鶴吉地区の水利関係者に伝える。
鶴吉	7月9日	01防災	三軒屋の分水	三軒屋地区は水害に苦勞している。道後平野9号水路における、上野高瀬との3ト、2トの分水のルールを守るよう、松前町・伊予市の行政が中に入って調整してほしい。	まちづくり課	御指摘の点は昨年度も聞いており、伊予市へは話をし、今後、地域を交えた協議を行うように考えている。また、令和5年度は当該箇所の水路の一部を改良し、流下状況が改善できたと考えている。効果の検証も必要である。
鶴吉	7月9日	12その他	国体記念ホッケー公園体育館	国体記念ホッケー公園体育館をよく使っているが、トイレに和式トイレがまだ残っているので、早く様式トイレにしていきたい。	社会教育課	かなり古い建物だが、指定避難所にもなっており、改修が必要であると認識している。ホッケーのクラブハウスがないことから、その機能も備えたものが理想かと思うが、検討していきたい。
鶴吉	7月9日	08農業	補助事業	鶴吉地区では、「多面的機能支払事業」を利用して、農道・水路の維持管理や井手清掃を行うなど、住民が一体となって地域の保全を行っている。継続して国・県の補助事業等を要望し、財源の確保に努めて欲しい。	産業課	国や県から財源を引っ張ってくるのはとても大事だと思っているので、そのように努めていきたい。
鶴吉	7月9日	12その他	調整区域の開発	市街化調整区域の土地利用について、現在、伊予市がJR車両基地の南側に「列車を用いた公園」を整備している。生活拠点となる駅から半径500m内では公園や宅地などの整備ができると聞けるが、その点どうか。町も宅地化など考えられないか。	まちづくり課	伊予市の公園整備は聞いている。確か、都計法で地区計画を定めれば、ご指摘の駅から半径500m内の整備は可能だったと思う。しかし、農地転用や道路やインフラの整備、一番に居住者の要望があるか等、ハードルは高いが、そう言う発想が必要と考える。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
徳丸	7月19日	07高齢者	補聴器購入への補助	認知症の一番の要因は、耳の聞こえが悪くなることだと聞いた。補聴器がとても高いので補助があれば助かるのだが。	福祉課	町独自の補助の仕組みはまだないが、来年度に向けて検討したい。 補助要綱を整備し、7年度予算に計上済である。
徳丸	7月19日	12その他	コロナワクチン接種への補助	10月からコロナワクチンの接種が始まると聞いたが、ワクチン接種への補助はないのか。	健康課	ワクチンの補助は県内統一である。現時点での情報として、コロナワクチン接種1回に係る費用が15,000円程度と想定され、そのうち、国から8,300円補助があり、残りの自己負担が約7,000円である。その自己負担7,000円のうち、町が4,000円補助して最終的な自己負担を3,000円にできないかと検討している。決まりしだい、広報等でお知らせしたい。 65歳以上の方の自己負担額は3000円で決定し、広報まさき10月号に掲載済。
徳丸	7月19日	02道路・交通・建物	路面標示	町内の道路で外側線が薄れていたり、消えているところがある。町道は町管理になると思うので、通学路などを優先的に消えかけの白線を引き直して欲しい。	まちづくり課	指摘のとおり、そのような箇所が多く見られ、適宜、引き直しを行っているが、箇所数が多く、対応しきれっていないのが現状である。通学路点検などで、通学路や主要町道について優先的に取り組んでいきたいと考えている。
徳丸	7月19日	12その他	マイナンバーカード	マイナンバーカードの普及率が低いと思うが、町としてマイナンバーカードについてどう考えているのか。	町民課	国としては、デジタル化を進めることで、コストダウンを図り、住民の利便性の向上を目指している。町としてもマイナンバーカードを使った手続の簡便化を進めていきたいと考えている。
徳丸	7月19日	12その他	コロナの情報	コロナの感染者数が増えていると思うが、情報が入ってこなくなっている。各自治体ごとの発症人数は発表されないのか。	健康課	現在は、県が定点の数値を発表しているのみで、市町ごとの数値は拾わない仕組みになっている。
徳丸	7月19日	12その他	コロナの情報	コロナの中予地区での数値を教えてください。	健康課	7/8～7/14の間で、中予保健所の管轄（松山市を除く）における、一つの病院での平均のコロナ診察者数が10.71人である。前週は5.29人、前々週が2.0人であるので増えてきている。
徳丸	7月19日	07高齢者	高齢者福祉施設	高齢者福祉施設を1つ誘致しているとのことだが、1つでは足りないのではないか。	福祉課	現在の年齢ごとの人口を見ると、75歳以上の方も多いが、第2次ベビーブームの頃に生まれた50歳代の方たちが一番多くなっている。この方たちが高齢になったときにも備える必要があると考えている。今回、第8期の介護福祉計画の改定のタイミングであったため、1施設増やすこととしたが、今後も改訂のタイミングで見直しをして、必要に応じて増やしていきたい。
徳丸	7月19日	07高齢者	高齢者福祉	町長として、高齢者福祉への取組について、どのくらい進んでいると考えているか。また、少子高齢化対策は。	福祉課	高齢者福祉への取組は、まだ2割程度であると思っている。少子高齢化対策は、本来は国が取り組むべき課題であり、すぐに成果が出るものではないと思うが、町としてしっかり取り組んでいきたい。
徳丸	7月19日	02道路・交通・建物	地域公共交通	地域公共交通の具体的なイメージは。	町民課	高松市のバスとタクシーを掛け合わせた実証実験を参考にしている。エリア内であれば、どこまで乗っても定額という仕組みである。また、自動運転技術との組み合わせや、国交省の補助金の活用も考えながら、町内タクシー事業者と協力して考えていきたい。
出作	10月1日	12その他	ふるさと納税	ふるさと納税の仕組みを教えてください	財政課	1万円寄付すると仮定すると、3千円相当の返礼品を受け取れるとともに、寄付金から2千円を引いた額8千円が税控除を受けられることとなる。ただし、所得に応じて上限額が変わってくる。
出作	10月1日	07高齢者	地域の支え合いに対する補助制度	高齢者等への地域の支え合いに対する補助制度について教えてください。	福祉課	これまでも一部の地区では、有志の集まりやボランティア等で、高齢者のゴミ出しや剪定などをお手伝いする仕組みがあったが、お手伝いをする側の高齢化や運営費用の面で継続が難しくなってきた。そのため、そういった地域での支え合いを支援するための補助制度を作り、町から住民主体で組織されたボランティア団体等を対象に、立ち上げ資金と運営費の補助を行うこととした。広報7月号で募集しており、民生委員にも周知している。ぜひ活用を検討していただきたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
出作	10月1日	04環境	野良猫対策	出作地区に野良猫が多いが、野良猫対策について教えてほしい。	町民課	町では野良猫の去勢手術の助成をしており、昨年は助成金額を上げて勸奨している。愛護団体等が捕獲して、動物病院等で去勢手術を行うことになる。また、野良猫にエサをやらないような周知を広報紙等で行っている。
出作	10月1日	08農業	荒廃農地	農業者の高齢化により、地域内でも荒廃農地が見られるが、誰かに耕作をお願いするにも手法が分からない。今後農地の荒廃化が進むことが危惧されるが対応策は。	産業課	農業の後継者不足は加速化の一途を辿っている。農業を継続させるために、長期的には、「区画の大型化・生産者の法人化・高品質作物の取組」などが理想である。身近な対応としては、担い手に頑張って貰いたい。「農地バンク」に登録し、「貸手てと借手のマッチング」により作ってもらうなど、役場産業課（農業委員会）に相談されたい。また10年先の地域の農業の在り方、「地域計画の策定」を現在各地区で行っている。是非出作地区も進めて欲しい。
出作	10月1日	02道路・交通・建物	老朽家屋	空家を改修する際、町からの補助はないのか。	まちづくり課	空家の除却の補助制度はない。空家対策については、全国空家アドバイザー協議会松前支部と連携して対応できる仕組みを考えていきたい。
出作	10月1日	04環境	ゴミの問題	将来的にゴミ処理場を伊予市に新設する計画はないか。	町民課	伊予市に新設するよりも、ゴミ処理の広域化ということで、将来的に町内に中継所を作って松山市に持っていく方向にしようと検討している。
出作	10月1日	02道路・交通・建物	重信川河川敷の駐車場	重信川の河川敷を利用し、ジョギングやサイクリングをしており、特に休日は利用者が多いと感じているが、駐車場やトイレがない。国の管理だと思うが、公園整備などできないものか。	まちづくり課	駐車場などあれば利用の向上が図られるため、何か取組を考えたい。 河川敷内の自転車道は県道の指定であり、県はサイクリングを推進している。また、国が進める「かわまちづくり河川敷の利用推進」の観点から検討したい。一方、下流の方では「治水対策」として堤の補強工事を進めており、治水・利水両方の観点から考えたい。 高水敷に駐車場の設置を検討する等、前向きに考えたい。
横田	11月13日	07高齢者	体操	体操教室を行っており、体操に使える曲を町で新たに作ってもらえないかお願いしたことがあるが、いつ頃できるか。	福祉課	間もなくできるように聞いている。もうしばらくお待ちいただきたい。 新しい体操のDVDを11月に作成し、体操教室を実施している団体等にお渡しした。
横田	11月13日	02道路・交通・建物	永田交差点の継続要望	永田交差点について南側の拡幅事業が止まっている。継続して県に要望して貰いたい。通学路でもあり、安心して利用できるように広げるべきである。現在、どのようになっているのか	まちづくり課	永田交差点拡幅については、「地権者との用地交渉が難航しており、進んでいない」と県から聞いている。御指摘のとおり、数年来、継続している事業であり、近況を県に確認する。 県から次の回答をいただいた。 交差点に隣接する地権者と改良計画内容および用地測量立入に関して交渉が難航し、事業進捗が見込めずH25年度より事業休止となっている。改良計画は交渉途中度々の計画変更を余儀なくされ変更案を提示したが、未だに了承を得られてない。用地測量の立入についても相続人の了承が得られず頓挫している。事業再開の見通しは立っていない。
横田	11月13日	12その他	健康診断	町の健康診断は胃の検査がバリウムしかないが、胃カメラも選択できるようにならないか	健康課	検討していきたい。
横田	11月13日	06学校	給食の地産地消	松前町の給食での地産地消の取組は。	学校教育課	地産地消のために地元産のものをできるだけ使うようにしており、更に進めていきたいと考えている。米については、給食センターに炊飯設備がなく、ライスセンターから仕入れるしかないが、炊飯設備の設置など松前町産の米を使用できないか研究していきたい。
横田	11月13日	01防災	防災行政無線	防災行政無線が聞こえにくいので、防災ラジオを配置してもらえないか。	危機管理課	防災行政無線が聞こえなかった場合の対策として、電話で防災行政無線を開けたり、メールやLINEで情報が届くような仕組みを作っている。高齢者への伝達手段としては防災ラジオ(戸別受信機)も有効かと思うので、対象者を絞って行えないかなど検討してみたい。 機器の更新の関係で、すぐに対応することは困難。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
横田	11月13日	08農業	農業後継と開発	農地を他の人に貸しているが、将来的に青字を白地にし、宅地化できないか。代替わりすると、尚、管理が難しくなるのでは。	産業課	農業を振興する地域では、容易に白地に転換できない。農業をしやすくように環境も整備され、投資もされている地域である。担い手については、地域や町の農業委員会に相談されたい。宅地化については、県が広域的な見地で整理している。宅地化には道路や水道などの基盤整備が必要であり、市街地に宅地は余っており、新たな投資は考えづらい。
横田	11月13日	08農業	農道の保全方法	農道にコンクリートを入れてほしい。伊予市は砂利道にコンクリートを入れて通り易くしている。どの場所と言う特定はないが、横田の農道を通り易くしてほしい。	産業課 まちづくり課	伊予市がどのような事業で農道をコンクリート化しているかわからないが、町では「土地改良事業（地元負担金が必要）や原材料支給（要確認）・多面的事業（要確認）」という補助事業で地域から申請いただければ実施は可能であるため、大字横田で検討いただきたい。 横田地区は多面的事業に取り組んでいるため、原材料の支給は無い。多面的事業でコンクリートを農道に充填することは出来ない。
横田	11月13日	02道路・交通・建物	県道の土砂	県道両端の歩道に土砂が溜まり、地元で掃除しているが、土砂の回収を何年かに一回お願いできないか。	まちづくり課	県に要望していきたい。
横田	11月13日	08農業	地域計画の進捗	地域計画（人・農地プラン）について、令和7年3月までに地図を完成し、公表しないといけないと聞いている。先般、横田地区もアンケートを実施し、進めている。この後のスケジュールについて教えてほしい。	産業課	地域計画（人・農地プラン）の策定については御理解のとおりである。スケジュールについては、持ち帰って農業振興係に確認する。 11/25（月）の週に担当職員が横田地域を訪れ今後の進め方の協議・指導を行う。